

和歌山県立  
日高高等学校

SGH ネットワーク 通信  
第9号

2021年8月19日



## 台湾高校生との Web 交流

4月27日（火）午後、台湾の高校生17名と Web 交流を実施しました。本校からは2・3年生の有志13名が参加し、地域紹介と学校紹介のほか、「日本の文化」という大きなテーマのもとで各自が話題を準備し、英語でプレゼンしました。

後半はお互いの言語を教え合ったり、日本のアニメや漫画の話題で盛り上がったりと、久々の国際交流を楽しみました。



### 生徒の学び

「支えてくれる人たちのありがたさ」  
3年6組 岡 ひより

コロナウイルスの影響で、私たちが海外の学校を訪問したり、海外の高校生が日高高校へ来校することも難しくなっていました。そんな中、この交流会があるということを知り、何か思い出を作りたいと思い参加しました。

私は和歌山県と日高高校の紹介を担当しました。班のメンバーと話し合いを重ね、パワーポイントを用いて進めていくことになりました。それから毎日のように放課後はパワーポイント作成に追われていました。たくさん紹介したいものがあり、厳選することが大変でした。どのようなデザインが伝わりやすいかなど、試行錯誤を重ねました。パワーポイントを作っていると、たくさんの先生方が「頑張ってるね」と応援してくださって、とても励みになりました。友達はパワーポイントをより良くするためにたくさんアドバイスをしてくれました。支えてくれる人たちのありがたさを身に染みて感じました。当日は少し難もありましたが、無事終わることができました。

台湾の方たちとたくさん交流ができて、とても楽しかったです。画面越しでも私たちの発表をにこにこしながら聞いてくださっていることが分かり、とても嬉しかったです。日本のアニメが好きだとおっしゃる方もいたので、状況が落ち着いたら、ぜひ遊びに来てほしいと思いました。

「情報を精選し、より魅力的に伝える工夫」  
2年6組 湯川 楓花

今回は、言語や文化の異なる海外の方々に日本のカルチャーを伝えるということで、普段以上に「より魅力的にまとめる」ということを意識しました。そのために特に気をつけたことは以下の3つです。

- ・伝える順序
- ・使用する言語や情報
- ・例示する商品（コンビニスイーツ）

初めて見る、聞く人の目線でこれらを考えることは、海外交流の場合のみならず、普段の活動でも重要だと思います。「人に何かを伝える」際には、常に意識しようと心掛けて参加しました。

また、今回の交流は、高校生になって初めて自分から応募した活動でした。だからこそ、不安なところも多少ありましたが、小さいプレゼンを自分で組み立てて、それを相手にしっかり伝えられたことで、自信に繋がりました。台湾と日本の共通点を知ったり、新しいことを学んだり、普段なかなかできない体験ができたので、とても貴重な体験になりました。